

# 1988年 HBe抗原陽性慢性肝炎に対するLEMによる

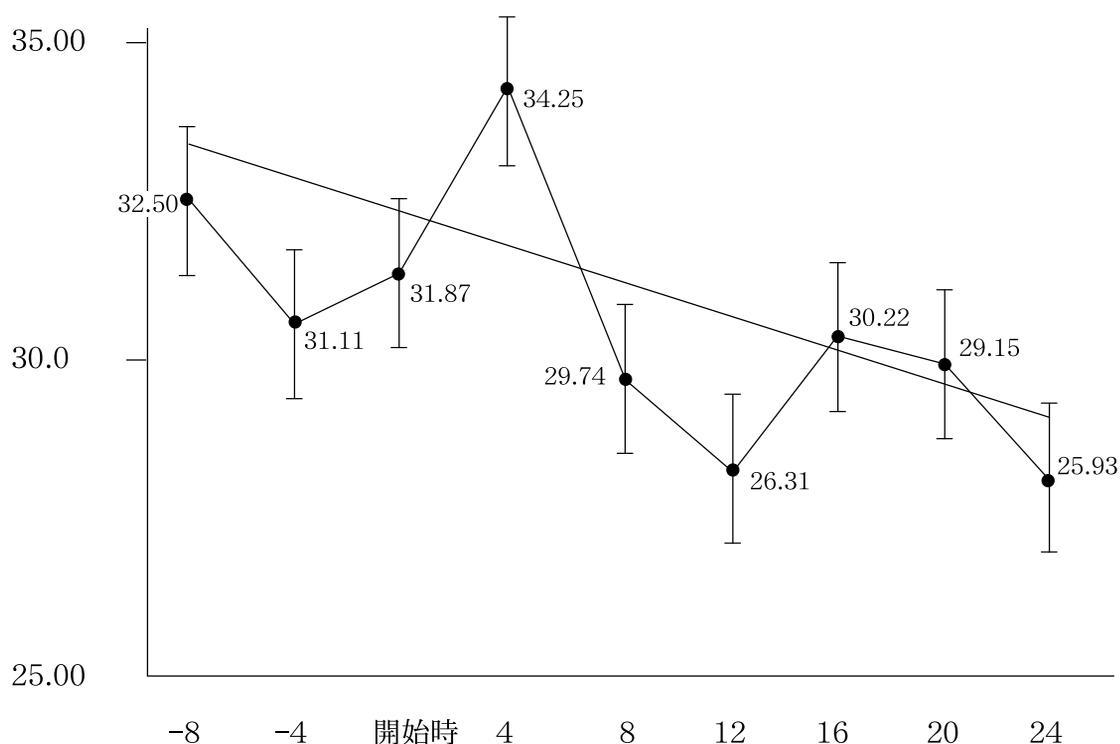
—多施設間Open studyによる検討—

代表者：原田、兼高（独協医大)(東京逋進)

HBE Ag陽性の慢性B型肝炎患者に対してLEMを1日6g、16週間服用し、安全性、有効性を検討した。解析不能であった69例について検討した結果、e抗体が有意に低下し、27%が陰性化した。一方、e抗体も有意に上昇し、8.3%にセロコンバージョンがみられた。主治医判定による総合評価では肝機能改善度、全般改善度はともに47%で改善、有意度は56%であった。また安全性は高かった。肝機能検査成績について血清GOT、GPT、は経時的に有意に低下し、一般肝機能検査7項目に対するMahalanobisの凡距離による検討でも改善傾向が認められた。血液学的、血液生化学的検査等で異常な変化はみられず、自・他覚症状にも重篤な変化がみられなかった。

B型慢性肝炎における「LEM」臨床調査総合判定

	全般改善度	肝機能改善度		有用度
著明改善	13(19.7%)	13(19.7%)	きわめて有用	12(18.2%)
改善	5(7.6)	5(7.6)		かなり有用
軽度改善	13(19.7)	13(19.7)	やや有用	19(28.8)
不変	28(42.3)	28(42.3)	有用と思われず	26(39.4)
やや悪化	6(9.1)	6(9.1)	好ましくない	3(4.6)
悪化	1(1.6)	1(1.6)		
計	66	66	計	66



肝機能検査の総合評価(Tp., Alb., Ch-E, GOT, GPT, ALP,  $\gamma$ -GPT) : Mahalanobisの凡距離による変化